別紙１

令和８年度　　陽北中学校　学校評価書

※　網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

１　教育目標（目指す生徒像含む）

（１）基本目標
- 自ら考え，主体的に学ぶ生徒
- 活気に満ちた，たくましい生徒
- 心豊かで，思いやりのある生徒

（２）具体目標（具体的な児童生徒像など）
校訓「聡く　強く　美しく　そして，陽北中生としての誇りをもつ」を体現できる生徒

２　学校経営の理念（目指す学校像含む）

社会に貢献できる人間を育成するため，生徒一人一人の自らの良さや身に付けた力に気付かせ，自己有用感を高め学校を楽しく居がいのある場としたい。そして，それらを伸ばしていく指導をもとに，確かな学び，豊かな心，健やかな体を育む教育活動の充実を図る。さらに，人とのつながりの中で互いに支え合い，人に役立つことの意義が理解できる生徒を育成する。

本校の古きよき伝統と校風を守り発展させ，保護者や地域の信頼と期待に応えることにより，生徒が陽北中学校に学ぶことを誇りに感じる学校づくりを目指す。

３　学校経営の方針（中期的視点）　※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

これからの社会をたくましく生きる力を身に付け，心身ともに健康でコミュニケーション豊かな知・徳・体の調和の取れた生徒の育成を目指し，以下の学校経営方針を軸とする。

（１）校訓を体現できる生徒の育成を目指し，本校の特色を生かしたカリキュラムマネジメントを行うことに努め，教育活動の工夫及び保護者・地域との連携により，特色ある教育活動を推進する。

（２）学習指導において，教師間で授業を見せ合い，授業実践を通した指導力の向上に努め，わかる授業を展開する。また，教材やＩＣＴを効果的に活用しながら，主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の工夫・改善を図る。

（３）生徒の自主的・自治的に活動できる場面を積極的に取り入れ，安心して考えを伝え合い，互いに高め合える学級集団の育成に努め，一人一人の個性の伸長を図るとともに，協働して課題に取り組む態度を養う。

（４）道徳教育において，自己を見つめ，物事を広い視野から多面的，多角的に考え，自己の生き方や人間としての生き方について考えを深めることができるよう道徳の時間の充実を図り，すべての教育活動をとおして道徳的実践力の育成に努める。

（５）生徒指導において，生徒一人一人の人格を尊重し，生徒を認め・ほめることの実践を通して生徒の自己有用感を高め，望ましい行動への意欲付けを図るとともに，豊かな心を育む教育を推進する。

（６）すべての教育活動に，特別支援教育や教育相談の考え方を生かし，一人一人の生徒の内面や能力・環境等の的確な理解の上に，その教育的ニーズに応える教育の実践に努める。

（７）生涯にわたって健康で安全な潤いのある生活が送れるよう，健康教育と安全教育の充実を図り，強い体力・気力を推進するとともに教育環境及び危機管理体制の整備に努める。

（８）地域学校園及び地域と連携し，小中一貫教育や「地域とともにある学校」づくりを推進し，人間性や社会性豊かで広い視野に立つ生徒を育成する。

（９）業務量管理・健康確保措置の実施のため，校内業務の精選化・効率化により生徒と向き合う時間を確保し，ワークライフバランスを考えた勤務時間により時間外勤務時間を削減し，健康で意欲的に勤務できるよう働き方改革を推進していく。

(10)「教職員評価制度」や「学校マネジメントシステム」,「魅力ある学校づくり地域協議会」等を有効に活用しながら，学校と家庭・地域との連携・協力を深め，教職員一人一人が情熱をもち協働して指導する。

【陽北地域学校園教育ビジョン】

「学びあい　認めあい　高めあう　陽北地域学校園」　～人と人との豊かなかかわりを通して～

４　教育課程編成の方針

（１）教育関係諸法規・法令や学習指導要領及び県，市の教育行政の方針等を踏まえる。
（２）どのように学び，どのような力を身に付けるのか等を明確にし「社会に開かれた教育課程」を目指す。
（３）小中一貫教育を推進し，地域学校園で連携した取組を家庭や地域に積極的に発信するなど地域とともにある学校づくりの一層の充実に努める。
（４）持続可能な社会の創り手となるよう，生徒が自分のよさや可能性に気づき自己肯定感を高めることができるよう工夫する。
（５）生徒の発達段階を考慮し，学習の基盤となる資質・能力や，現代的な諸課題に対応していくための資質・能力を育成することができるよう，教科等横断的な視点で，各教科等の関連付けを図りながら調和のとれた教育課程を編成する。

５　今年度の重点目標（短期的視点）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に〇印を付ける。

（１）学校運営
・校訓を体現できるよう特色ある教育活動を推進する。
〇地域と連携した諸活動の推進
（２）学習指導
〇対話的で深い学びによる思考・判断・表現力の向上及び学習の基盤となる態度や学習習慣の育成
（３）児童生徒指導
・一人一人の自己有用感を育てる生徒指導及び個性を尊重した個別支援の充実
（４）健康（体力・保健・食・安全）（元気アップ教育に係る取組を含む）
〇生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力の育成

６　自己評価

A1～A20は市共通評価指標　B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）
※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充　B継続　C縮小・廃止，を自己評価時に記入
※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に〇印または該当箇所に下線を付ける。

第２次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評　価
１－（１）確かな学力を育む教育の推進	Ａ１　生徒は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 ８５％以上	・話し合いやグループ活動を通して意見を共有し，役割を担って協力的に課題解決へ取り組む姿勢の育成を図る。 ・教科書や資料，個人用 PC を活用して必要な情報を主体的に収集・整理し，その内容をもとに自分の考えを深める学習を促進する。 ・課題に対して仮説を立てたり多面的に考察したりする学習を通して思考力を伸ばし，振り返りを重視して自らの成長を実感できる機会をつくる。		【達成状況】 【次年度の方針】
１－（２）豊かな心を育む教育の推進	Ａ２　生徒は，思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 ８５％以上 教職員の肯定的回答 ８５％以上	・陽北 Good job 賞の取り組み等を通して，より積極的に生徒の良さを発見し，認め，賞賛し，自己有用感を育成する。 ・道徳科の授業や学校行事等を通して，他者への思いやりの心を育成するような指導を行い，保護者や地域にも発信していく。 ・生徒の良さを学校全体で共有できるような取り組みを検討し，実践できるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】

	Ａ３　生徒は，目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 ８５％以上	・全教職員で，学校行事や部活動など，集団や個人の達成目標について，明確な達成目標を立てられるような助言・活動を工夫していく。 ・目標に向けて努力することのすばらしさを全教育活動の中で伝え，目標達成に向けて努力する生徒を認める。 ・目標達成を実感できるように励まし，認める機会を設けていく。		【達成状況】 【次年度の方針】
１－（３）健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	Ａ４　生徒は，健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 ８５％以上 教職員の肯定的回答 ８５％以上	・保健主事を中心に保健だよりや食育だより，委員会活動を通して健康についての啓発を日常的に行い，健康に関する自己管理能力を高める。 ・保健安全部主導で，安全教育全般を通して，思考力・判断力・表現力を育成していく。 ・給食後の歯みがきについて，全学年統一で行っていけるように委員会活動などを通して呼びかけを行う。		【達成状況】 【次年度の方針】
１－（４）将来への希望と協働する力を育む教育の推進	Ａ５　生徒は，自分のよさや成長を実感し，協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 ８５％以上	・各種学校行事や生徒会活動，学級での係活動等において，生徒が主体となって活躍できる場を設け，その成果を引き続き伝えるとともに，生徒が互いに認め合える場面を設定していく。 ・生徒が自己肯定感をもちながら，互いに認め合える受容的な雰囲気づくりを行う。		【達成状況】 【次年度の方針】
２－（１）グローバル社会に主体的に向き合い，郷土愛を醸成する教育の推進	Ａ６　生徒は，英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 ８０％以上	・英語科で言語活動の工夫を続け，お互いに伝え合う活動の機会を設けていく。 ・オールイングリッシュの授業を実践し，話すことの活動をコミュニケーションと発表に分けて行う。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ａ７　生徒は，宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 ８５％以上	・百人一首など生徒に身近な教育資源を活用することで，宇都宮の文化や歴史に触れる機会を増やしていく。 ・宇都宮学を通して，地域への興味関心を高めるとともに，宇都宮の文化や歴史について触れる機会を増やしていく。		【達成状況】 【次年度の方針】
２－（２）情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	Ａ８　生徒は，デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 ８５％以上	・各教科の年間計画を見直し，授業展開のなかに，端末を活用する場面を意図的に設定していく。 ・探究的な学習の授業の際に，デジタル機器を活用する場面を取り入れ，生徒の主体的な学びを促進する。また，図書室の本を活用した調べ学習の機会を設ける。 ・日常生活の様々な場面でデジタル機器を活用する中で，情報モラルやリテラシーの育成を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】

２－（３） 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	Ａ９　生徒は,「持続可能な社会」について，関心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 ８０％以上	・全教職員が学校行事やボランティア活動をはじめ，生徒の自己有用感が高められる場面を多く設定していく。 ・現代社会の課題として「持続可能な社会」について，生徒への投げ掛けを意図的に行い，主体的に学びに向かえる学習方法を工夫していく。 ・総合的な学習の時間を活用して３年間を通じて活動を行う。また社会科などの教科指導の中で「持続可能な社会」について考える場面を設定し，生徒が主体的に考えることのできるようにしていく。		【達成状況】 【次年度の方針】
３－（１） インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	Ａ10　教職員は，特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて，適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 ８５％以上	・インクルーシブ教育の視点を意識し，ＳＣ，ＳＣＭ，校内教育支援センター支援員，養護教諭との連携を図り，情報共有や互いの報告，連絡，相談を徹底する。合わせて合理的配慮についての共通理解や，意見の交換の場を設ける。 ・かがやきルームについて，効果的な支援を踏襲・継続し，さらに適切な支援の充実を図る。 ・特別支援教育推進委員会及び教育相談部会を通し，切れ目ない支援の提供を目指し，教職員間の情報共有に努める。 ・特別な教育的支援を必要とする生徒の学習及び生活環境の整備を図るために，合理的配慮を提供する。 ・年に１回以上の特別支援教育に関する研修を行い，教職員のインクルーシブ教育に関する意識醸成を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
３－（２） いじめ・不登校対策の充実	Ａ11　教職員は，いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 ８５％以上 教職員の肯定的回答 ８５％以上	・いじめゼロ強調月間に合わせて，「学校生活のアンケート」を実施し，現状を把握するとともに，いじめの早期発見に努める。 ・生徒会主体のいじめゼロ集会を行い，いじめゼロ宣言やいじめゼロ標語募集など，いじめゼロに向けての活動を行い，生徒の意識向上を図る。 ・取り組みを学校ＨＰや生徒指導だよりなどで校外に向けて発信をする機会を増やし，一層充実していく。 ・校内で行った活動を校外に向けて発信する取り組みは継続したい。教職員へのいじめ等対策についての研修などを行うとともに，日ごろからいじめに対するアンテナを高く持ち，未然防止・早期発見に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】

	A12　教職員は，不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 ８５％以上 教職員の肯定的回答 ８５％以上	・教育相談部会（不登校対策委員会）を中心に組織的に取り組む。 ・宮っ子ダイアリーの活用を図り，生徒の良い点や善い行いを賞賛することで，自己有用感をさらに高めていく。また生徒の不安なども早期に発見し，対応することを継続する。 ・Ｑ－Ｕを効果的に活用し，円滑な学級経営を目指す。 ・多様な不登校の背景を的確に捉え，今後も組織的に対策を行い，学校全体の課題として取り組みたい。また，日常から，自己有用感を高めるような声掛けや取組を継続して，不登校を生まない学級経営に努めたい。		【達成状況】 【次年度の方針】
３－（３）外国人児童生徒等への適応支援の充実 ３－（４）多様な教育的ニーズへの対応の強化	A13　学校は，一人一人が大切にされ，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 ８５％以上 教職員の肯定的回答 ８５％以上	・学校行事や生徒会活動など，生徒の自発的な活動を教職員が要所で支援し，達成感や充実感を味わわせ，自己有用感を高めていく。 ・生徒を主体とした活動を大切にし，生徒の学びの機会を提供していく。 ・生徒の良さへの称賛を陽北 Good job 賞などで行うことで，教職員は常に生徒のよさを見つけ認めて伸ばし，生徒の居がいのある学校づくりを目指す。 ・生徒一人一人が輝ける場所作りを念頭に置き，生徒主体で学校行事を計画・運営できるように教職員は支援していく。また，どんな時でも教員は生徒と真摯に向き合い，生徒の声に耳を傾ける。		【達成状況】 【次年度の方針】
４－（１）教職員の資質・能力の向上	A14　教職員は，分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い，学力向上を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 ８５％以上 教職員の肯定的回答 ８５％以上	・教科部会を充実させ，「分かる授業」のための授業展開・教材・評価の工夫を継続的に検討する。 ・ICT 機器を効果的に活用し，個に応じた指導を充実させる。 ・学校 HP やたより等で授業の様子や取組を発信し，家庭との連携を強化する。 ・校内授業研究会や「授業力向上週間」を充実させることで，教師の授業力を向上させ，生徒の学力向上を図っていく。		【達成状況】 【次年度の方針】
４－（２）チーム力の向上	A15　学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 ８５％以上	・学校経営方針具現化のために，チームとしての具体的な到達目標をいくつか設定する。その実現のために自分は何をすべきかを個々の教職員評価の具体的な目標設定に策定できるようにする。 ・学校行事や職員研修等を通して，全教職員が専門性を生かして，業務に取り組む体制づくりをする。 ・全教職員の専門性を生かして，業務に取り組む体制をつくる。 ・日々のコミュニケーションを通して，教職員の共通理解を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】

４－（３） 学校における働き方改革の推進	Ａ16　勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 ８０％以上	・優先順位を考えながら，仕事を行い，個々の勤務時間を意識させる。 ・効率的にＩＣＴを活用し，日常業務の見直しや内容の改善を行う。 ・働きやすい環境づくりを継続する。 ・文書やデータ，各教科の物品などの保管場所を設定するとともに，整理し，機能的な環境をつくる。		【達成状況】 【次年度の方針】
５－（１） 全市的な学校運営・教育活動の充実	Ａ17　学校は，「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 ８５％以上 教職員の肯定的回答 ８５％以上	・生徒会の取り組みであるあいさつ運動をはじめ，地域での奉仕活動などでの交流や地域学校園の小学校との交流会や意見交換会をオンラインで行う。 ・小中交流授業を各小学校で実施する。 ・年２回のあいさつ運動など，生徒の自主的な参加を促していく。 ・年２回の小中合同家庭学習強化週間を設ける。 ・小学校６年生の中学校訪問を実施する。		【達成状況】 【次年度の方針】

５－（２） 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 ５－（３） 地域と連携・協働した学校づくりの推進	Ａ18　学校は，家庭・地域・企業等と連携･協力して，教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 ８５％以上 地域住民の肯定的回答 ８５％以上	・各学年において地域の人材や事業所とのつながりを大切にし，理解を深めるとともに，実践的なキャリア教育の充実を図っていく。また，学習活動の内容を適切に地域へ発信していく。 ・１年「働く人に学ぶ」や２年「社会体験学習」など，地域の職業人や事業所への理解を一層深められるようにする。 ・望ましい職業感の形成や主体的に学ぶ進路学習の実践など，キャリア教育の充実を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
６－（１） 安全で快適な学校施設整備の推進	Ａ19　学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 ８５％以上 保護者の肯定的回答 ８５％以上	・月に１回の安全点検で確認するだけでなく，日ごろから担当場所の見回り点検を行い，日常的に実施する。なお，修繕が必要な場合には速やかに副校長，学校業務に報告をして早期に修繕改善に努める。 ・避難訓練の実施により危機意識の向上を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
６－（２） 学校のデジタル化推進	Ａ20　コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から，授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 ８５％以上	・ICT 支援員との連携体制を最適化し，校内の ICT 活用を一層推進していく。 ・係内での役割分担を再編し，教職員と支援員がそれぞれの強みを活かし，効率的に業務を共有できる仕組みを整え，授業や校務のさらなる充実に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
小・中学校，地域学校共通，本校の特色・課題等	Ｂ１　生徒は，時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 ８５％以上 保護者の肯定的回答 ８５％以上	・生徒会執行部，生活委員会による「あいさつ運動」に参加した生徒に対して「陽北 Good job 賞」等を用いて，称賛するような働きかけをし，生徒自身が自主的に活発なあいさつができるように育成する。 ・場面や相手に関係なく，堂々とあいさつができるように，教員が見本を見せながら支援していく。		【達成状況】 【次年度の方針】

	Ｂ２　生徒は，きまりやマナーを守って，生活をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 ８５％以上 教職員の肯定的回答 ８５％以上	・きまりの検討だけではなく，きまりやマナーをなぜ守るのか，そもそもなぜそれらがあるのかなどを学校全体で考えていくような取り組みを検討したい。 ・全教職員でできている行動・良い行動を認めるなど生徒の行動を積極的に称賛する。 ・場面にあった判断を自分で行っていけるような「自己指導能力」の向上を図り，より一層，きまりやマナーを順守するような態度や思いを醸成する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ３　生徒は，進んで運動をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 ８０％以上 教職員の肯定的回答 ８０％以上	・年間を通して，単元に合わせた補強運動を引き続き実施しながら，体力の向上を図るとともに，運動に親しむ態度を養う。 ・各クラスにボールを配布しているので，ボールを活用して外に出る習慣をつけさせる。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ４　学校全体で校訓「聡く　強く　美しく」を共有化し，生徒同士の連帯感を高めている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 ８５％以上	・様々な取り組みを通して，校訓と結びつけ，協調することで，その実現に向けて生徒および教職員の意識を高める。 ・運動会や文化祭等の学校行事において，生徒が主体的に活動する場面を増やしていく。 ・本校の教育活動の指標，伝統を，学校が元気に力強く進んでいくためのスローガンとして，様々な活動や取組において啓発していく。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ５　生徒は，校訓「聡く　強く　美しく」のもと，力を合わせて，学校行事をはじめ様々な活動に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 ８５％以上	・様々な活動や取組において，「校訓」を意識できるよう，計画や振り返りにおいて啓発していく。 ・校内各所への掲示，各種通信などの周知を継続する。 ・一人一人の個性の伸長を図りつつ，学校行事や生徒会活動等を協力して行えるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7　学校関係者評価

8　まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。